



3月29日(土)・30日(日)

谷地ひなまつり

珠玉の時代雑特別公開

有職雛(紅花資料館)

山形県 河北町



路線	所要時間	備考
仙台	90分	
山形	20分	高速道路80分
山形新幹線	20分	山形自動車道
奥羽本線	35分	山形自動車道
左沢線	25分	山形自動車道
山形空港	タクシー10分	
寒河江I.C	20分	
東根I.C	7分	
東根北I.C	7分	

いもこ列車一般公開

日時: 3月30日(日) 10時~12時

料金: 無料

整理券配付: 9時30分

場所: 河北中央公園

乗車したお子様には記念品をプレゼント! ぜひご乗車ください。

雑とべに花の里・かほく

(一社)河北町観光物産協会 ☎0237(72)3787

やちひなまつり

谷地のひなまつりとひな市



次郎左衛門置上げ立雛(鈴木英友家) 町指定文化財

河北町谷地のひなまつりは、「みちのくひなまつり発祥の地」といわれています。北口通りを中心に、ひな市が立ち、各旧家の雛人形公開が行われます。

四百年も前から谷地には毎月十八もの市が立ち、大変な賑わいをみせていました。そのうち二と六の日は、北口六斎と称した市が開かれ、旧暦三月二日の市がちょうど雛の節句にあたるので、いつしか「おひな市」、「節句市」と呼ばれ、今日に至っています。当時の市には、日用品の他に雛人形、玩具、髪飾りなどのほか、節句用の食品が並びました。

江戸時代に谷地が誇った紅花交易で、京都・大阪からの上方文化がこの地に導入され、



御所人形(細谷昌平家) 町指定文化財

雛人形もそのひとつでした。谷地に伝わる数多くの享保雛や古今雛などは折紙つきの逸品で、美術書の巻頭を飾っています。そのほかにも、寛永雛、元禄雛、有職雛、芥子雛、御所人形、竹田人形、からくり人形などがあります。これら、代々大切に引き継がれてきた雛飾りが、年に一度、一般に公開されます。

谷地のひな市、次郎左衛門置上げ立雛、御所人形、享保内裏雛は、日本遺産「山寺と紅花」の構成文化財にも認定されています。



享保内裏雛(紅花資料館) 町指定文化財

本品は座高86.5釐と大ぶり、顔の胡粉磨きや眉目の描きぶりが実に見事です。紅花で染えた商家と上方との結び付きを示す資料としても、高い価値があります。

- 時代雑公開会場
- ★ ひな供養会場
- 🚰 お手洗い
- ♿ 障がい者用トイレ
- ☕ 休憩所
- 👤 ひなまつり案内所
- 🚏 シャトルバス停留所
- 🍜 そば屋



無料シャトルバス運行

- 町内循環(午前9時~午後4時) ※途中休憩あり
- 河北町役場-さくらんぼ東根駅

河北町役場 発	さくらんぼ東根駅 着	さくらんぼ東根駅 発	河北町役場 着
12:10	→ 12:30	10:40	→ 11:00
13:40	→ 14:00	12:40	→ 13:00
15:10	→ 15:30	14:10	→ 14:30

○河北町路線バス(片道200円 子ども100円)

河北町役場 発	さくらんぼ東根駅 着	さくらんぼ東根駅 発	河北町役場 着
7:06	→ 7:39	7:49	→ 8:23
12:59	→ 13:32	13:37	→ 14:11
17:47	→ 18:20	18:25	→ 18:59

祭り関連イベント

時代雑公開 3月29日(土)~30日(日)
※午前9時~午後4時(一部午後5時まで)

- ① 鈴木英友家 … 大人500円 高校生300円 小中学生100円
- ② 細谷昌平家 … 大人300円 高校生300円 小中学生100円
- ③ 谷地八幡宮 … 無料
- ④ 矢ノ目靴屋 … 200円 午前10時~午後4時(3/29・30・31)
- ⑤ 紅花資料館 … 大人400円 高校生以下無料 午後5時まで
- ⑥ 安部権内家 … 大人400円 高校生以下無料 午後5時まで
- ⑤・⑥ 共通券 … 600円

人形のまち さいたま市岩槻人形伝統工芸士による

制作実演と制作体験

3月29日(土)・30日(日)

◆人形制作実演

- 午前11時~正午 午後1時~3時
- 役場1階ホール

◆木目込人形制作体験

かわいい人形の制作体験ができます。

- (1日限定30名)
- 午前9時~午後3時
- 役場1階ホール
- 料金 1,000円~9,000円

※実物サンプル展示・役場1階ホール
※体験は3月17日(日)まで事前申込が必要です。
珠飾りは当日参加も可能。(数量限定)
お問い合わせ・お申込みは
(一社)河北町観光物産協会 ☎0237-72-3787 まで



ひな供養

- ◆神事 3月29日(土)・30日(日) 午後2時
- ◆受付 午前10時~午後1時30分 ※当日受付のみ
- ◆初穂料 4千円から

問い合わせ先 ほくしん会会長 今田達哉 ☎0237-72-3722(今田製麺所内)

雛の節句は、その昔から厄除の心を盛りこんだまつりといわれ、今日でも地方によっては、日常生活での罪やけがれを素朴なひな(形代)に託し、川に流す風習などが残っています。谷地ひなまつりでは、秋葉神社境内の「ひな塚」の前で、古い雛や形代に雛料理を供え、私たちの健康と幸福を願う「ひな供養」の神事が行われます。

